

アジア学術交流懇話会

会員の広場

お互いの交流拡大を目的に、会員皆様の近況・ご意見などを発信していただくスペースです（不定期）。今回は、ロシアで3番目に人口が多くしかもモスクワ地区と2分する科学技術分野の研究機関を擁しながらシベリアの中ほどに位置するため、一般の日本人が殆んど住んでいないノボシビルスク市に単身6年半ほど在住ののち、今年春に帰国してロシア関連の会社を設立された新田祐子氏にお願いしました。

ロシアに単身滞在してわかったこと
—常識、価値観の違いを超えて—

株式会社ユニサービス 代表取締役 新田 祐子



私は2001年9月から今年4月まで、ノボシビルスクに単身滞在し、ロシアの高度成長期を見る、という得がたい体験をしました。組織も財産も身寄りもない私は、疎外されたり歓迎されたり、様々な生のロシア人に採られました。その結果、最近ロシア人の行動原理がだんだんわかるようになりました。例えば、自己保身のためにウソをつくという行為があります。それ自体はこの国にも、日本にもあるのですが、正直を貫いて立場を失った人に対する評価が、ロシアと日本ではだいぶ異なるように思います。ロシアでは、そういう人は「あいつはバカだ、皆のように嘘さえついていれば・・・」と非難されかねません。

あるとき、私自身不可避な状況からミスを犯したとき、正直に申告したために職場を首になり、滞在許可を取り消されました。日本では、自分の過ちを認めれば、一時的に立場を失っても正直を貫いた、という点だけは好意的に評価されます。改心して生き直した人は、人格的にも成長します。

しかし、ロシアでは「非を認めた人を許せば、社会の非行を増長させる」という考えから、自首した人には厳罰が科せられることとなります。ロシアのように、価値観の違う者同士との戦いの長い歴史を持つ国では、白黒の判断自体が多様です。そんな中で最優先されるのは、手段を選ばず自分と家族

を守ること。かっこつけて男が死んで、残された家族が社会に守られるか、ということではない。大抵は放置されて、母はアル中、子供は施設で不幸の連鎖にまきこまれる。だから、男は嘘をついてでも、自己保身を図り、家族を守らなければならない、と考えるのです。

ロシア人と日本人は違います。その相違は、両国の歴史や社会のしくみの違いから生じたものです。日本人から見て、ロシア人が非常識に映ることがあったとしても、価値観や常識の違いには、それなりの理由があるのです。

それでも、「許す寛容」「改心」という日本的な価値観を私は美しいと思います。何とかこれを、ロシアや、世界の人々に、そしてそれを忘れかけている日本人自身にも、理解してもらえないものと念じております。

連絡先： 株式会社ユニサービス
〒013-0044 秋田県横手市横山町4-55
TEL/FAX：0182-23-5337
URL：http://novoinfo.com/uniservice/
Email：uniservice@athena.ocn.ne.jp



ノボシビルスク市の文化行政のリーダーが秋田県で交流イベント（2006.8）



ビジネスマン向け日本語教室。ひなまつり。日本のお菓子とお茶をいただく（2007.3.3）



ノボシビルスクのシベリア北海道センターのイリーナさんが我が家を訪問（2008.7）



今回はノボシビルスク市に単身で6年半ほど在住した新田祐子さんからロシアでの貴重な体験を寄稿して戴きました。本センターでもシベリアの民族を研究しておりますので参考になることがあるかと存じます。今後のご活躍を期待しております。
(工藤 純一)

《うしろ》（東北アジア学術交流懇話会ニューズレター）第38号 2008年12月15日発行

発行 東北アジア学術交流懇話会

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41番地 東北大学東北アジア研究センター気付

PHONE 022-795-7580 FAX 022-795-6010

http://www.cneas.tohoku.ac.jp/gon2/ E-mail: gon@cneas.tohoku.ac.jp